

神戸アートビレッジセンター アートサロン 「森優貴ダンスを語る」

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、神戸を拠点とする貞松浜田バレエ団出身で、神戸の地に所縁のあるダンサーの森優貴氏をお招きし、アートサロン「森優貴ダンスを語る」を開催する運びとなりました。アートサロンでは、8月に公演を控える新作「マクベス」についてお伺いするほか、日本人として初めて欧州の公立劇場の舞踊部門芸術監督に就任した森氏からドイツでの活動などについてお話頂きます。を17:00~18:00には、ご希望の方は稽古の様子をご見学頂けます。つきましては、本企画をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、ご掲載のご検討を頂けますようお願い申し上げます。

神戸アートビレッジセンターアートサロン

「森優貴ダンスを語る」

ゲスト：森優貴

聞き手：大谷燠（神戸アートビレッジセンター館長）

日時：8/12（土）18：30～19：30

料金：1000円（1ドリンク付き）

会場：神戸アートビレッジセンター 1F 1room

お申し込み：メール（event-info@kavc.or.jp）に、氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、質問事項をお送りください。稽古の見学を希望される場合はその旨も明記ください。

[森優貴プロフィール]

貞松・浜田バレエ団を経て、97年ハンプルクバレエスクールへ留学、卒業後数多くのダンスカンパニーでトップとして活躍し世界著名振付家作品を数多く踊る。なかでも師とするシュテファン・トスの元で2001-2012年に渡りダンサー兼振付家として活躍。平成19年度文化庁芸術祭新人賞受賞。08年「週間オン★ステージ新聞」より新人ベストワン振付家賞。11年「WINTERREISE 冬の旅」再演により平成23年度文化庁芸術祭大賞受賞。2012年9月よりレーゲンスブルク劇場 Theater Regensburg Tanz(レーゲンスブルク劇場ダンスカンパニー)の芸術監督に就任。日本人初欧州での就任となった。優れた音楽性と構成力で新作を次々と発表、独自のテーマで演出振付し、ドイツ舞台芸術協会などドイツ芸術誌で高い評価を得た「春の祭典」、新改訂版「ドン・キホーテ」、完全オリジナルのサスペンス作品「The House」、最新作「Bolero」では”新世代のボレロ”と各界から大絶賛を受ける。2016年6月に開催されるハノーファー国際振付コンクール30周年に審査員として出席した。



お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 友成、大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356